



創立120周年記念 経営説明会

平成24年度決算と大分銀行の取組み



概要

平成25年3月31日現在

本店 : 大分市府内町3丁目4番1号

創立 : 明治26年2月1日

資本金 : 195億98百万円

従業員数 : 1,740名 (出向者および嘱託等を除く)

店舗数 : 103ヶ店 (うち大分県内: 92ヶ店)
(別途、東京事務所および香港駐在員事務所あり)

預金等残高 : 2兆5,861億円

貸出金残高 : 1兆6,420億円

外部格付 : A+(日本格付研究所)

経営理念

地域社会の繁栄に貢献するため

銀行業務を通じ最善をつくす

大分銀行の存在意義は、ふるさと大分県をはじめ、
銀行店舗の存在基盤である地域の皆さまへの
充分な金融サービスの提供を通じて、
地域社会の繁栄に貢献することです。

コーポレートメッセージ

地域をみつめ 未来をみつめ

当行の経営理念を集約し、社会に伝えるメッセージであると共に、
行員一人ひとりの姿勢の表明でもあります。
グローバルな視点と地域の一員としての自覚を持ち、
創造性と柔軟な行動力により、地域社会の繁栄に貢献しようとする、
企業意志を表現したものです。

平成25年6月26日現在

取締役

- (代表取締役) 取締役頭取 : 姫野 昌治
- (代表取締役) 専務取締役 : 三浦 洋一
- (代表取締役) 専務取締役 : 鈴木 崇之(昇任)
- 常務取締役 : 高原 一誠
- 常務取締役 : 清水 進英
- 常務取締役 : 後藤 富一郎(新任)
- 取締役相談役 : 小倉 義人
- 取締役
ビジネスソリューション部長 : 渡部 智弘
- 取締役
本店営業部長 : 衛藤 秀樹
- 取締役
総合企画部長兼収益管理室長 : 兒玉 雅紀(新任)
- 取締役(社外) : 下田 憲雄
- 取締役(社外) : 桑野 和泉

監査役

- 常勤監査役 : 広瀬 亨
- 常勤監査役 : 岩田 伸彦(新任)
- 監査役 : 河野 浩
- 監査役 : 小島 庸匡
- 監査役 : 薬師寺 十郎

執行役員

- 執行役員
東京支店長兼東京事務所長 : 永木 伸一
- 執行役員中津支店長 : 平山 義雄
- 執行役員証券国際部長 : 疋田 一敏
- 執行役員別府支店長 : 菊口 邦弘
- 執行役員小倉支店長 : 泥谷 利城
- 執行役員リスク統括部長 : 木許 禎(新任)
- 執行役員人財開発部長 : 田中 秀幸(新任)

I. 平成24年度決算

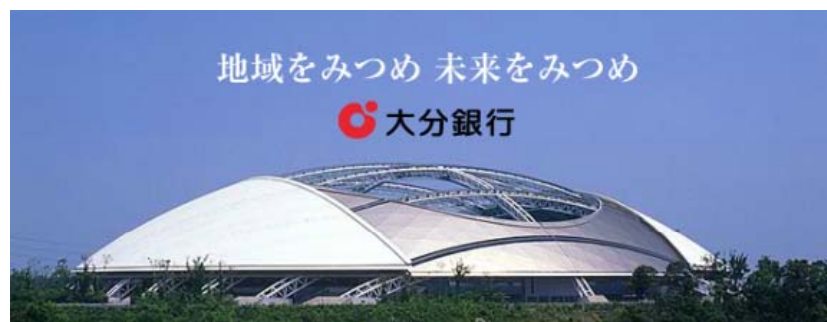
1. 【単体】損益概況	5
2. 当期純利益と自己資本比率	6
3. 金融再生法開示債権	7
4. 株主還元	8

II. 営業の実績

1. 預金等および貸出金	10
2. 大分県内シェア	11
3. 有価証券ポートフォリオ	12

III. 大分銀行の取組み

1. 地域や地域の事業者さまが抱える課題	14
2. 大分銀行グループ一丸となった取組み	15
3. 地域と一体となった成長、発展	16
4. 地域の優れた観光資源の発掘と発信	17
5. 文化・スポーツ振興への取組み	18
6. お客さまとの永続的な取引関係の構築	19
7. 新システムへの移行と営業人員の増加	21
8. 創立120周年	22





I. 平成24年度決算



1. 【単体】損益概況

・貸出金利息収入の減少等により、経常利益は前年対比▲31億円の87億円、当期純利益は前年対比▲5億円の54億円となりました。

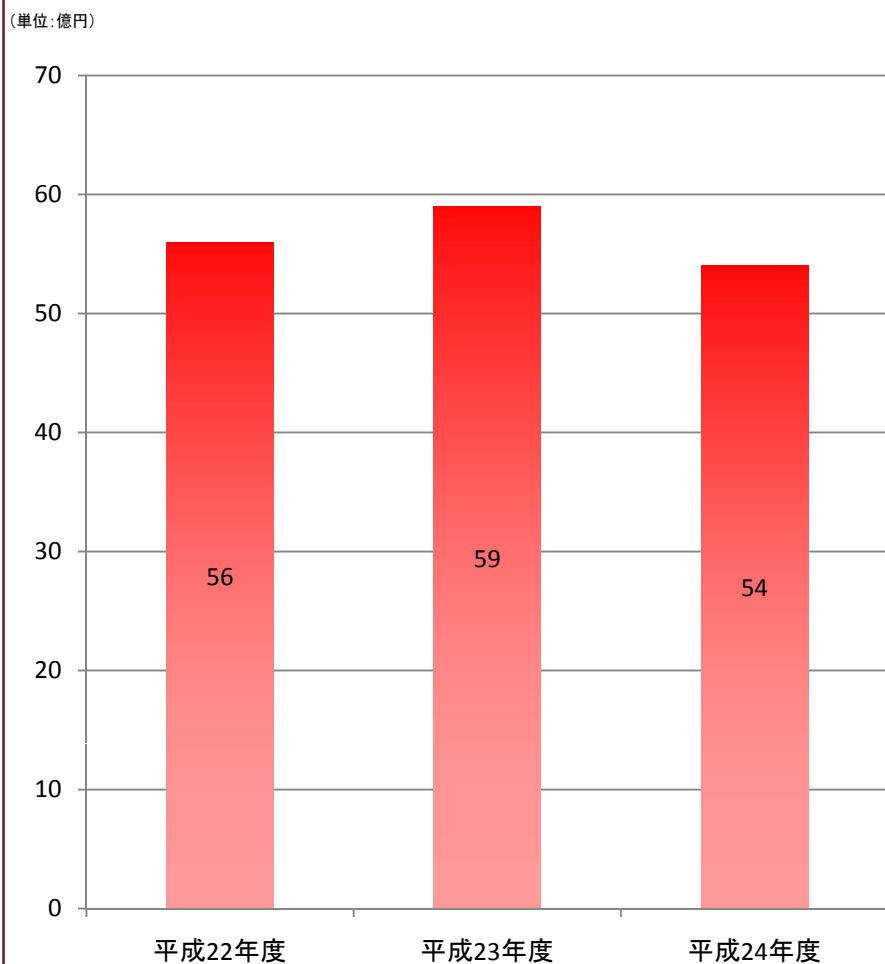
(単位:億円)

	平成23年度	平成24年度	増 減
経常収益	510	475	▲ 35
資金運用収益	379	358	▲ 21
貸出金利息	267	252	▲ 15
有価証券利息配当金	110	104	▲ 6
役務取引等収益	69	67	▲ 2
その他業務収益	5	22	17
国債等債券売却益	4	21	17
その他経常収益	56	27	▲ 29
貸倒引当金戻入益	41	—	▲ 41
経常費用	392	388	▲ 4
営業経費	309	306	▲ 3
経常利益	118	87	▲ 31
当期純利益	59	54	▲ 5

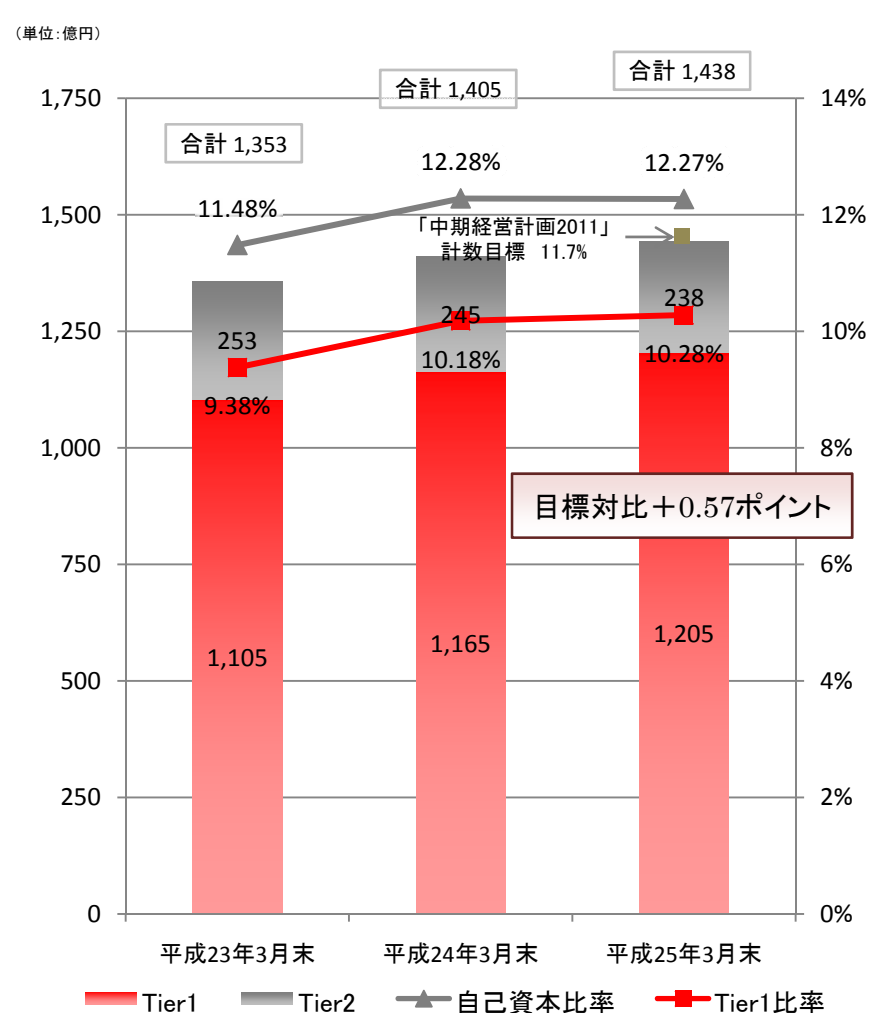
2. 当期純利益と自己資本比率

- ・当期純利益は50億円超の水準にて堅調に推移しております。
- ・自己資本比率は12.27%と、「中期経営計画2011」の目標を+0.57ポイント上回っております。

当期純利益の推移



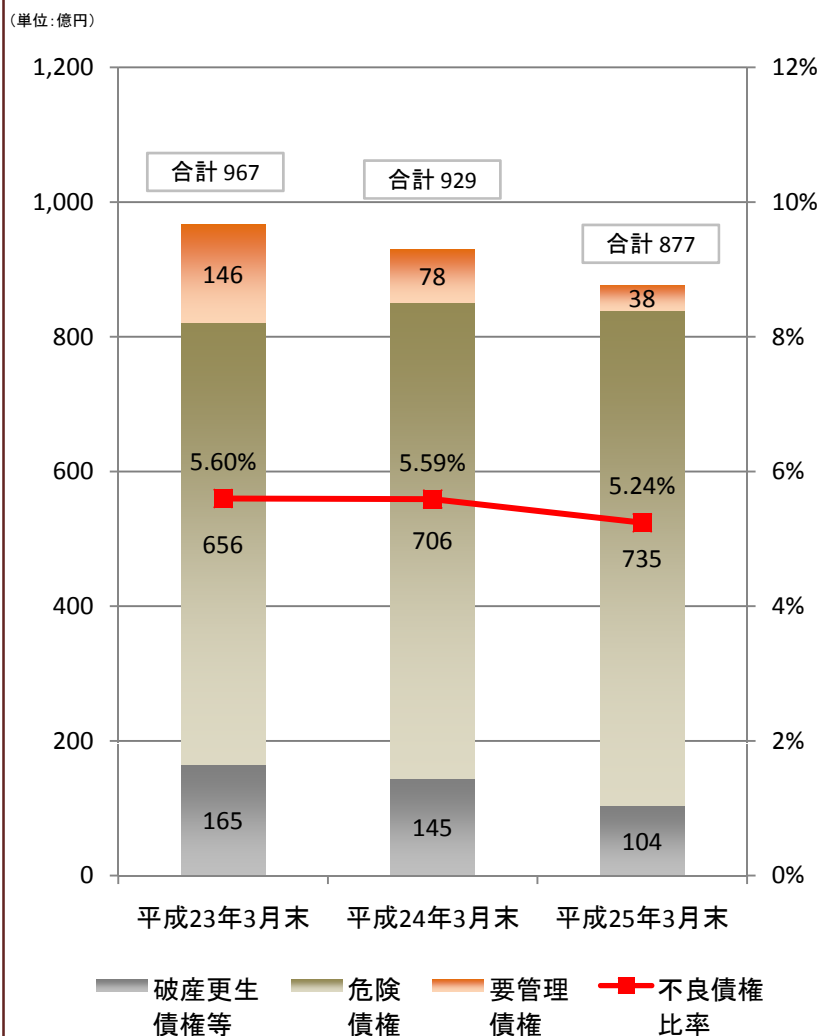
自己資本額・自己資本比率等の推移



3. 金融再生法開示債権

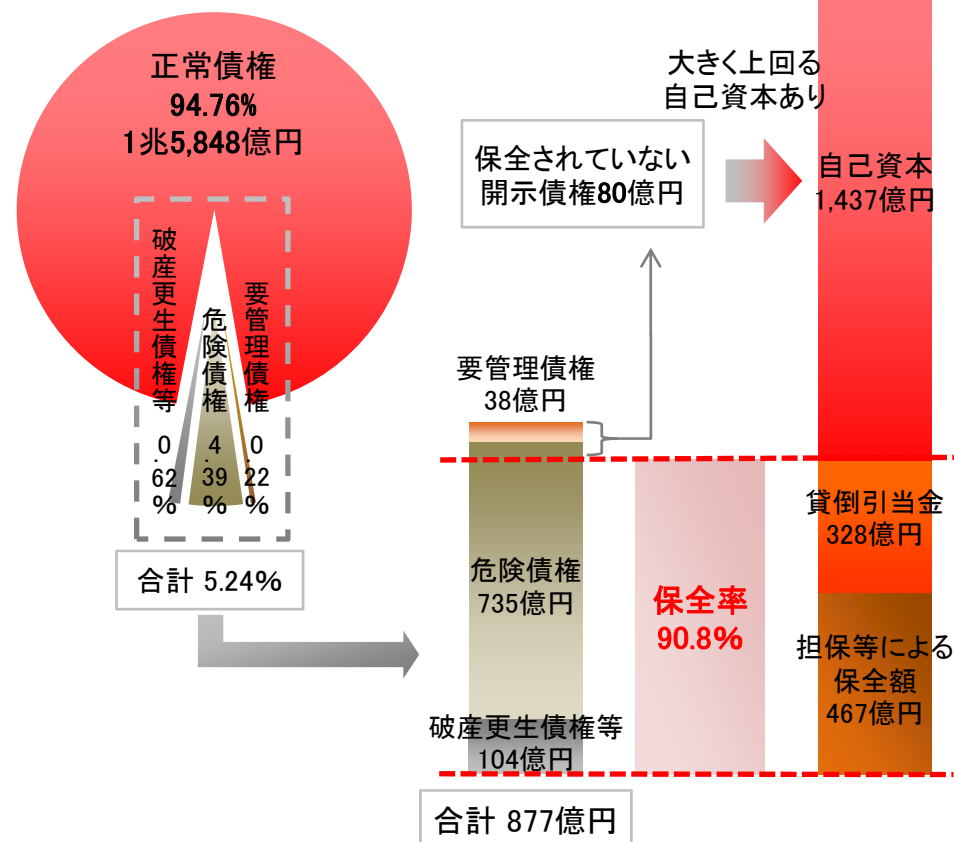
- ・開示債権額877億円のうち、貸倒引当金および担保等による保全率は90.8%と高い水準にあります。
- ・保全されていない81億円については、自己資本1,437億円にて十分にカバーされております。

金融再生法開示債権・不良債権比率の推移



金融再生法開示債権 保全状況

貸出金等合計1兆6,725億円
(平成25年3月末時点)



4. 株主還元

- ・平成24年度は創立120周年の記念配当1円を実施し、トータルで1株あたり7円の配当を行います。
- ・平成24年5月から7月にかけて、総額約12億円の自己株式の取得を行っており、平成24年度の株主還元率は43.0%となりました。

配当額の推移

		平成22年度	平成23年度	平成24年度
1株あたり 配当額	中間	3円	3円	3円
	年間	6円	6円	7円(予定)

平成24年度の年間7円のうち1円は創立120周年記念配当。

自己株式の取得

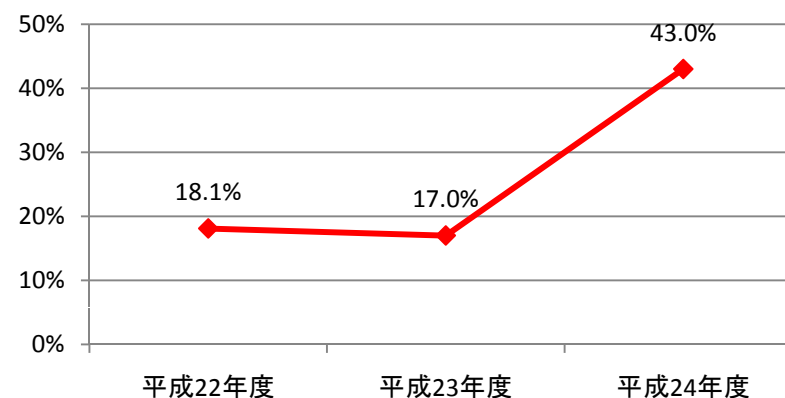
取得した株式の種類	普通株式
取得した株式の総数	5,000,000株
株式の取得価格の総額	1,182,558,000円
取得期間	平成24年5月14日～平成24年7月4日
取得方法	市場買付およびToSTNeT-3

株主への利益配分の状況

(単位:百万円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
年間配当額	1,028	1,028	1,164
自己株式取得額	—	—	1,182
株主還元額	1,028	1,028	2,346
当期純利益	5,649	5,950	5,453
配当性向	18.1%	17.0%	21.2%
株主還元率	18.1%	17.0%	43.0%

《株主還元率の推移》



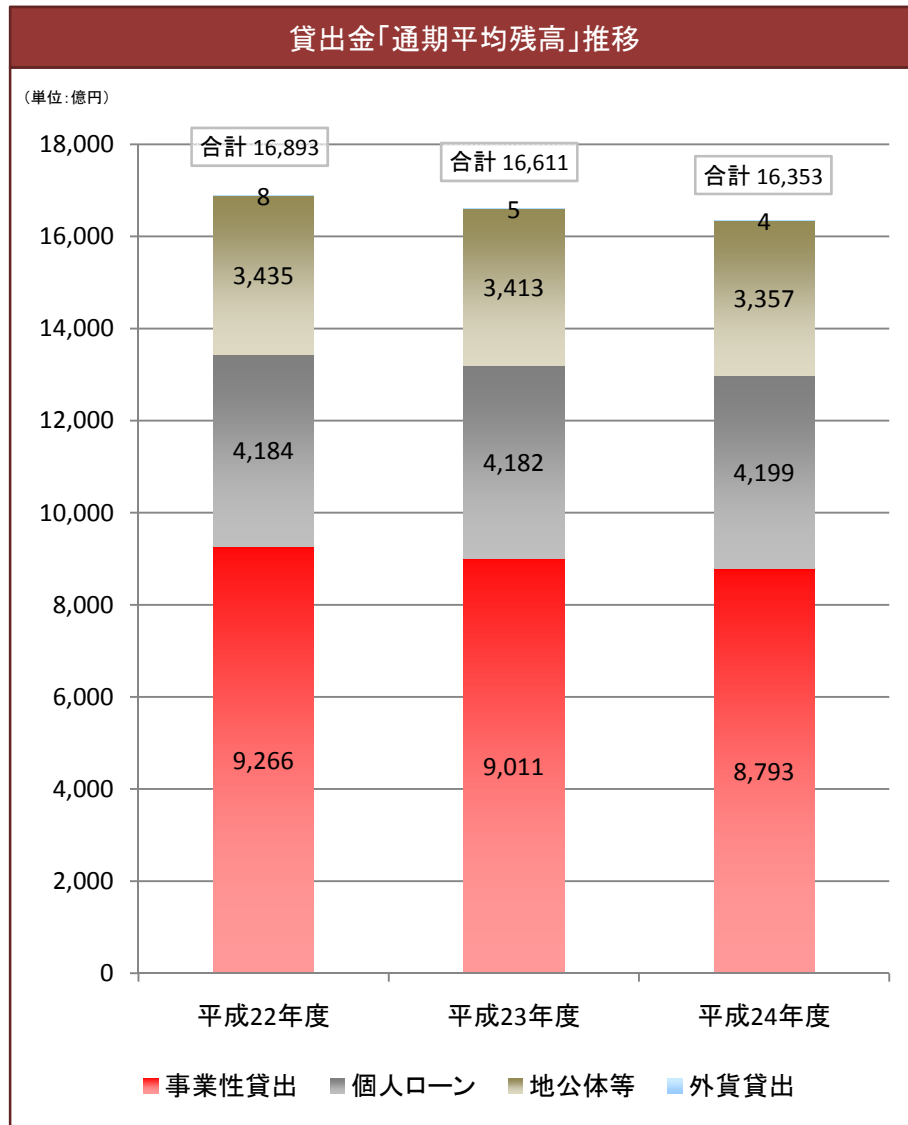
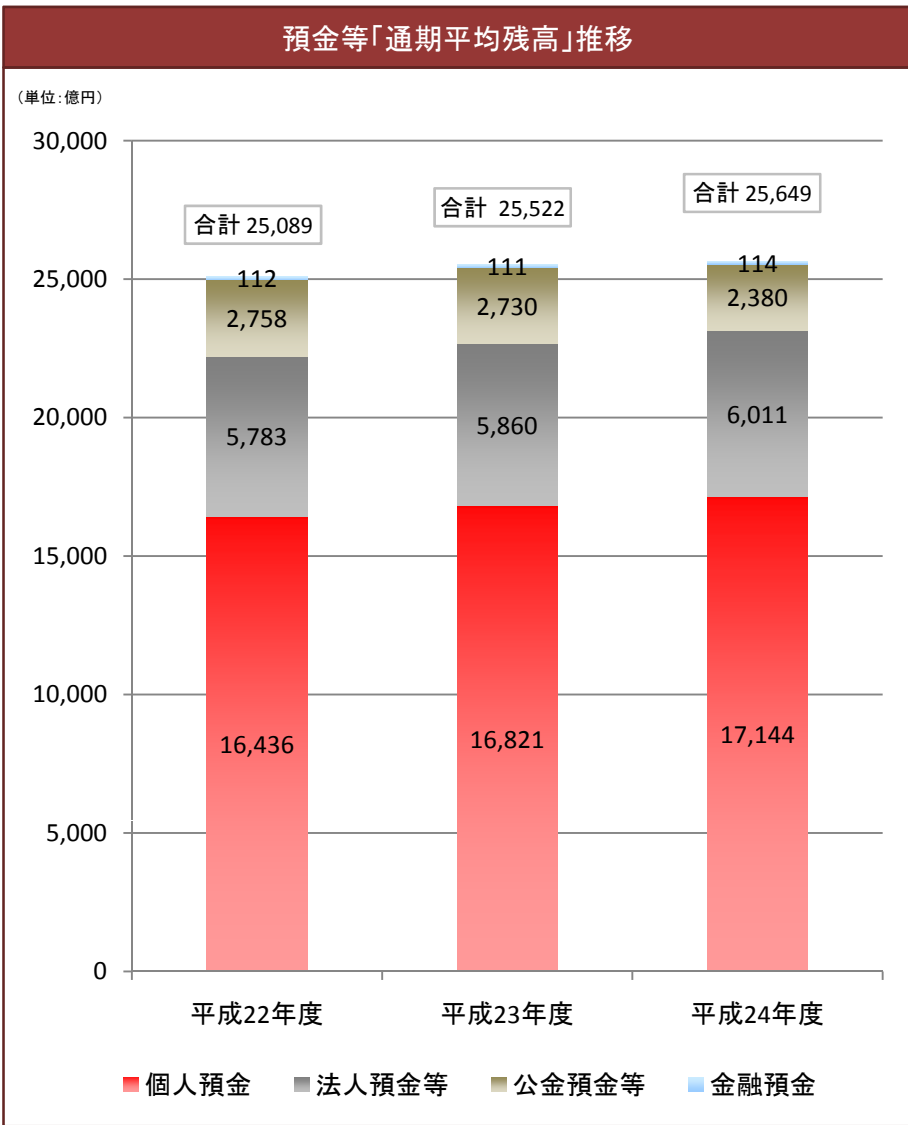


Ⅱ. 営業の実績



1. 預金等および貸出金

・預金等の平均残高は順調に増加しており、平成24年度の年率は+0.5%となりました。
 ・県内事業性貸出金は増加しているものの、県外の貸出金が減少したことから、総貸出金の平均残高の年率は▲1.5%となりました。

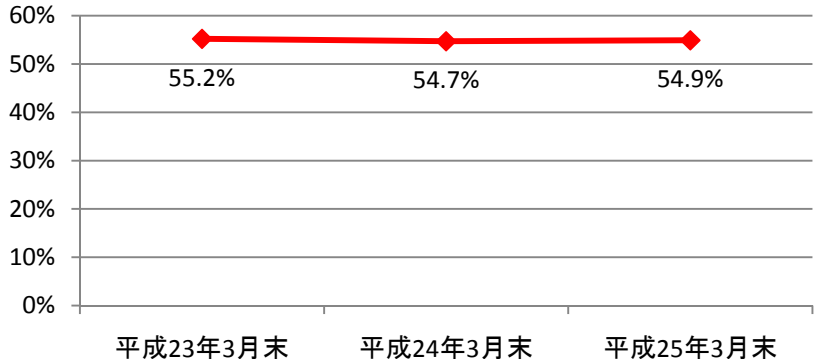


2. 大分県内シェア

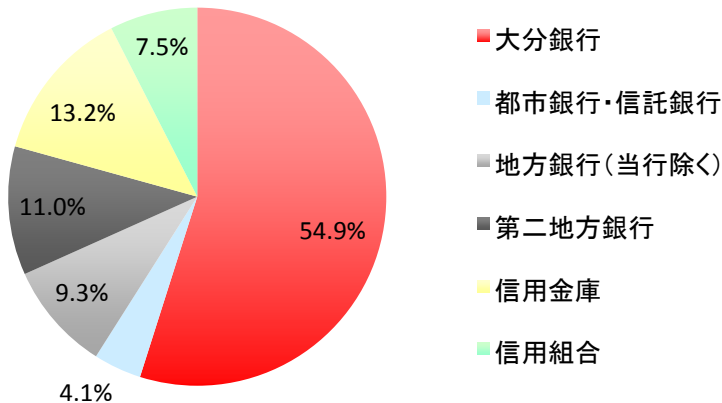
- ・大分県内シェアは、預金等54.9%（前年対比+0.2ポイント）、貸出金48.3%（前年対比+0.1ポイント）となりました。
- ・お客さまとの持続的な取引関係を構築させて頂き、事業性貸出金を増強することによって、貸出金のシェアを更に高めてまいります。

預金等

《預金等 大分県内シェア推移》

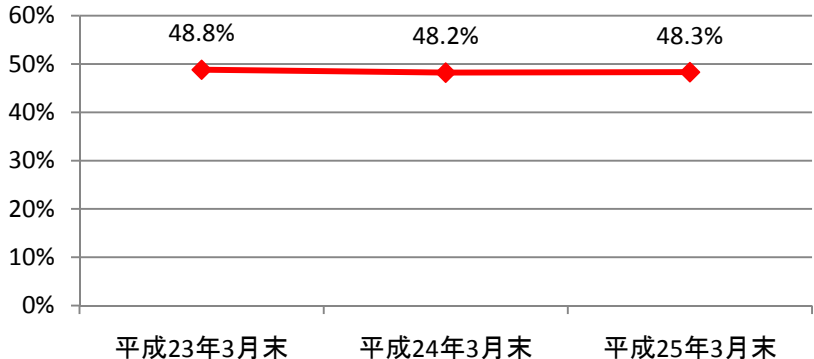


《預金等 平成25年3月末時点 大分県内シェア》

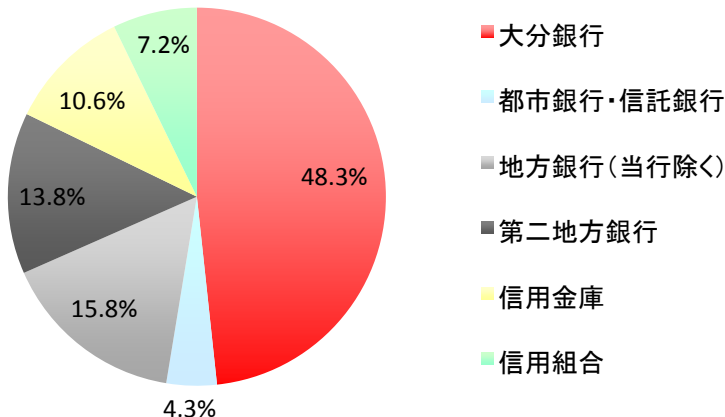


貸出金

《貸出金 大分県内シェア推移》

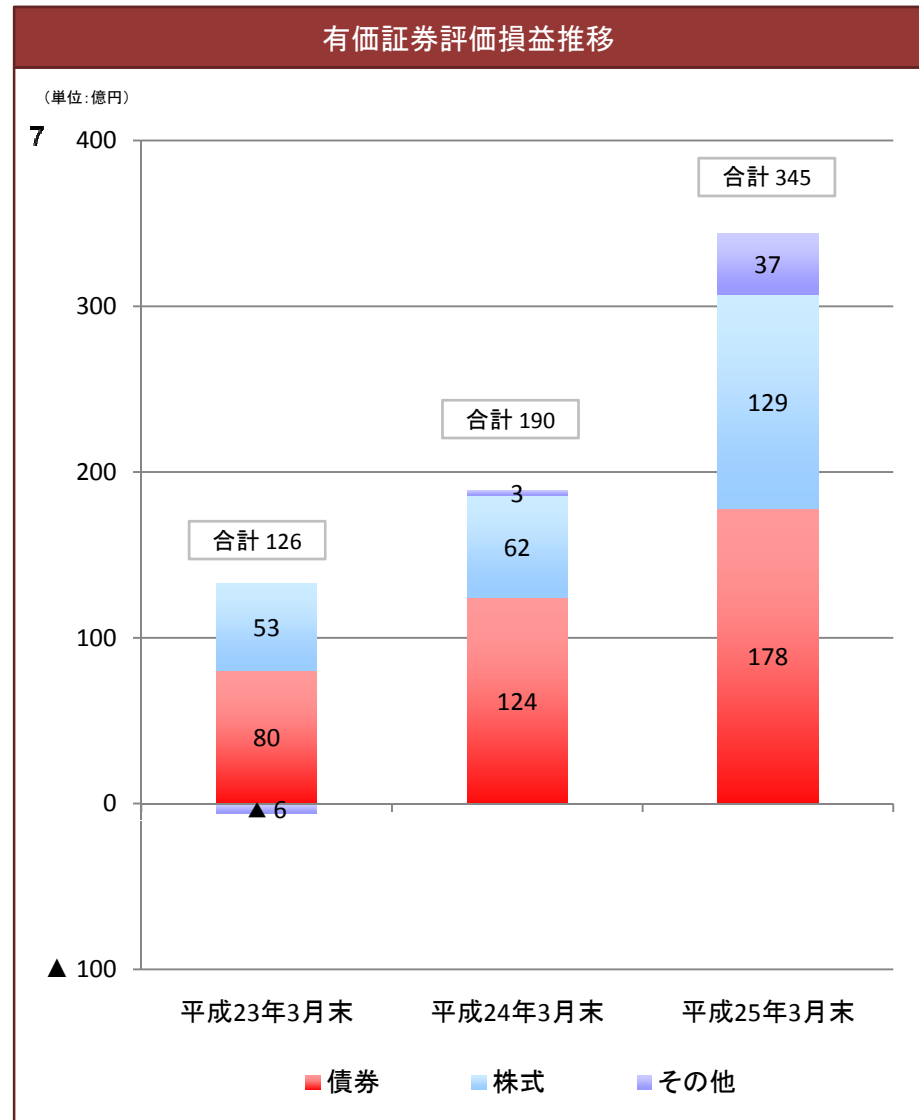
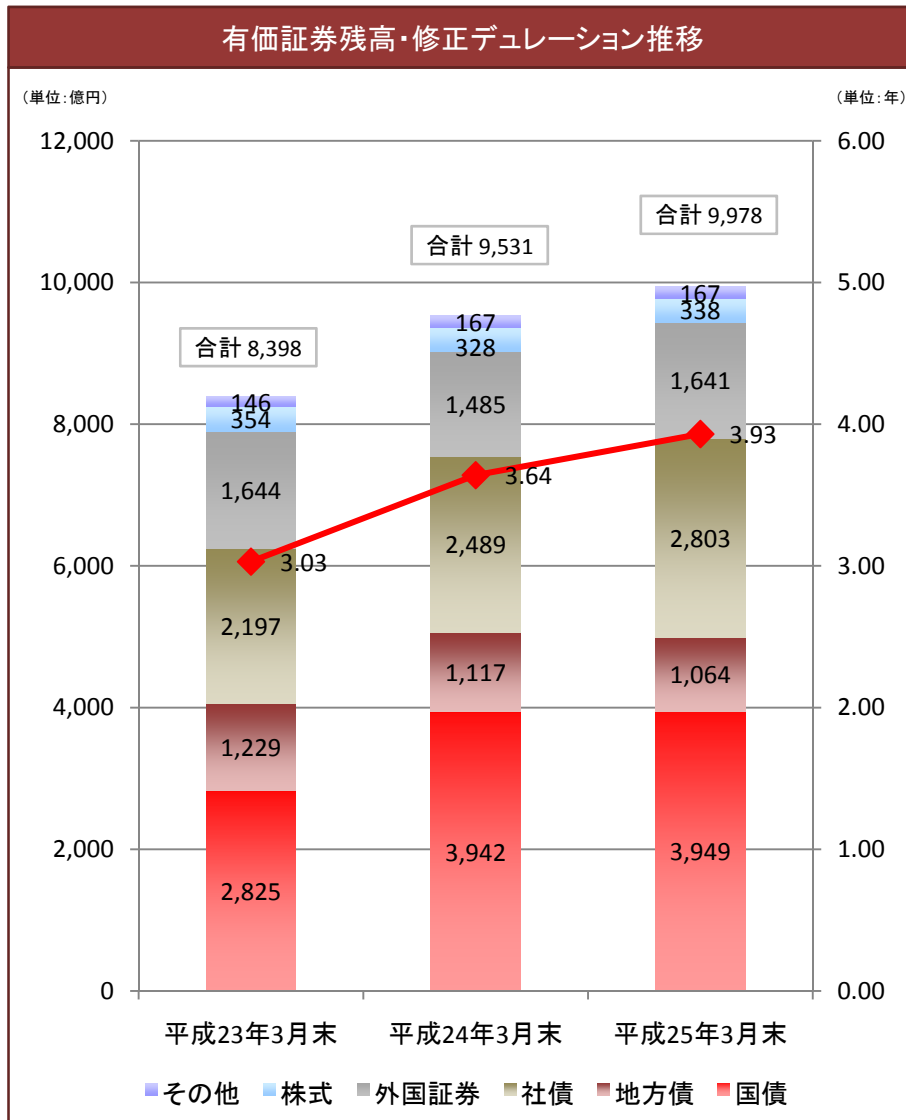


《貸出金 平成25年3月末時点 大分県内シェア》



3. 有価証券ポートフォリオ

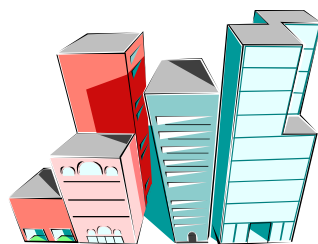
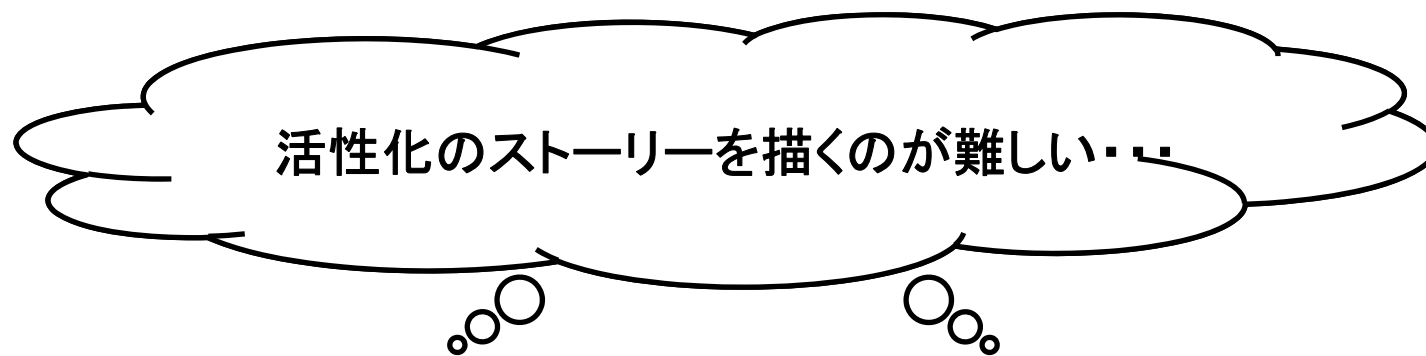
- ・有価証券残高は、預金等が順調に増加していることに伴い、9,978億円と前年対比+447億円の増加となりました。
- ・有価証券評価損益は、市況の好転の影響などにより、前年対比+155億円の345億円となりました。





Ⅲ. 大分銀行の取組み

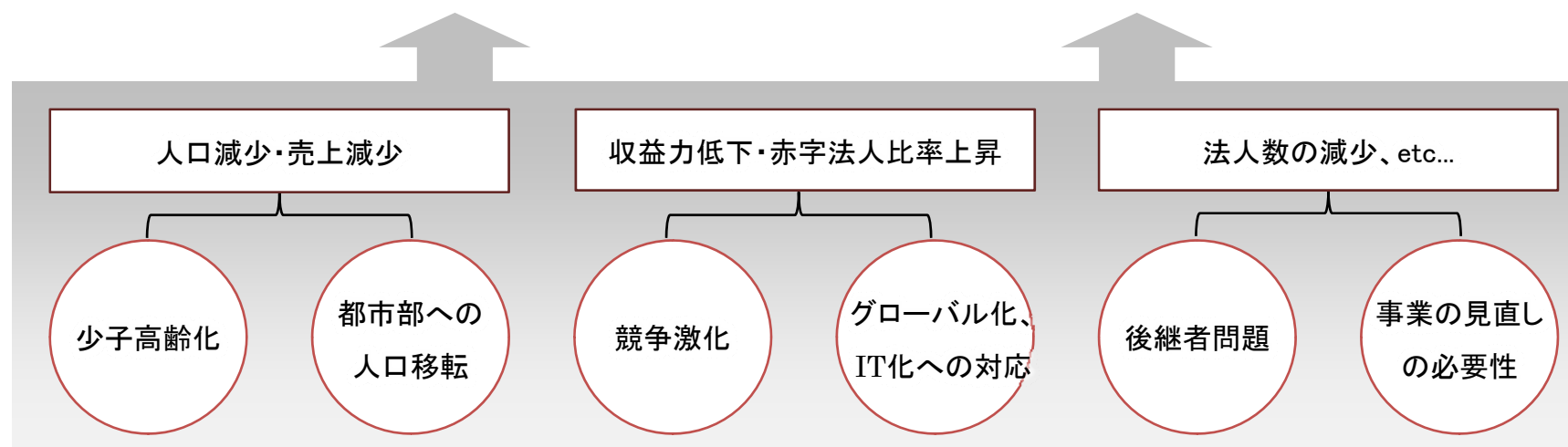




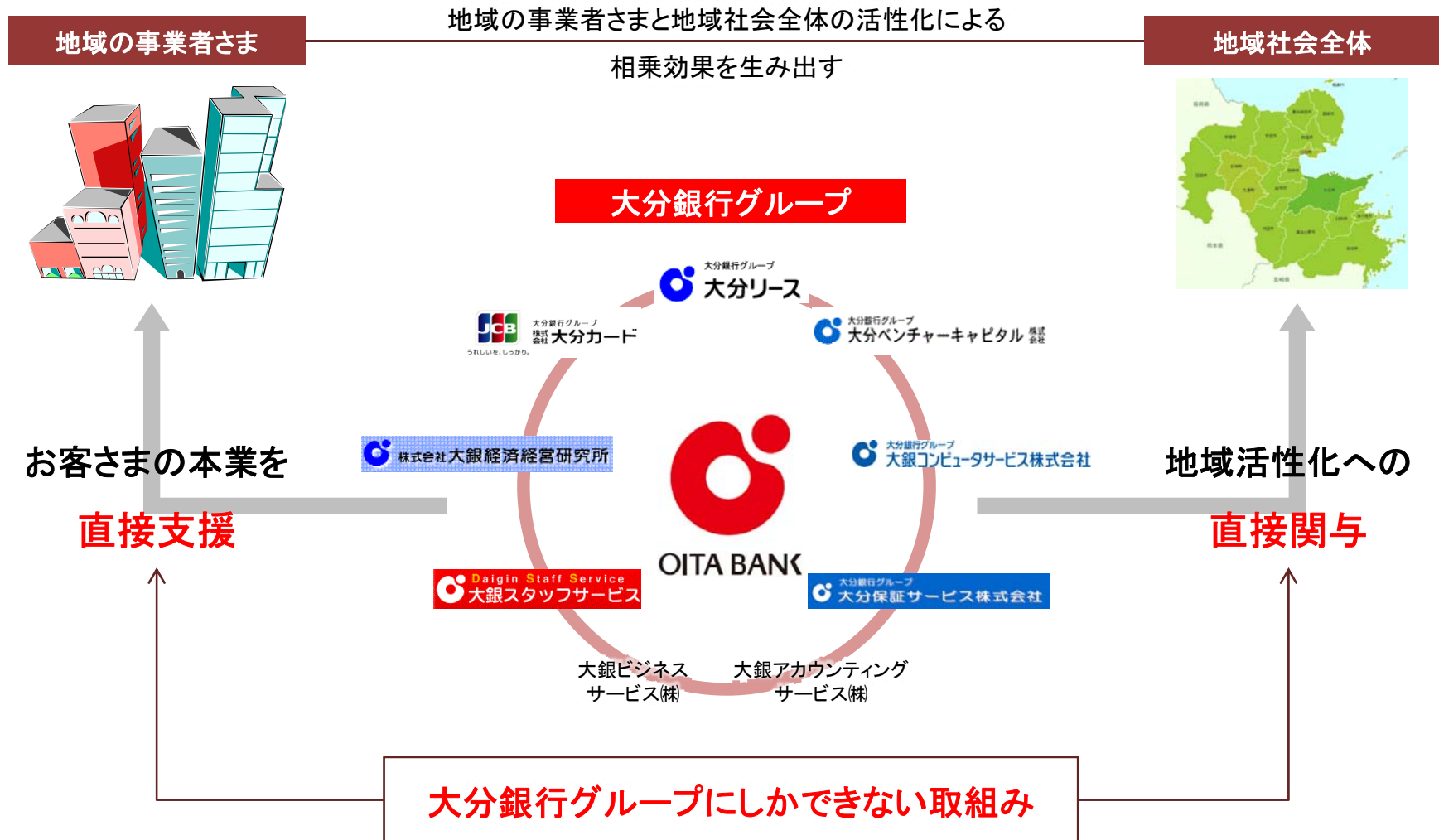
地域の事業者さま



地域社会全体



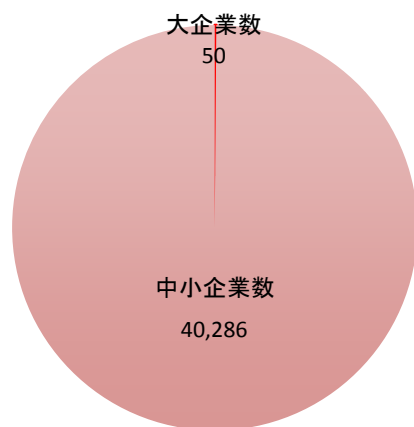
2. 大分銀行グループ一丸となった取組み



当行と一体の関係にある地域社会全体と地域の事業者さまの活性化に対し、
大分銀行グループ一丸となった取組みを行ってまいります。

お客さまの本業を**直接支援**

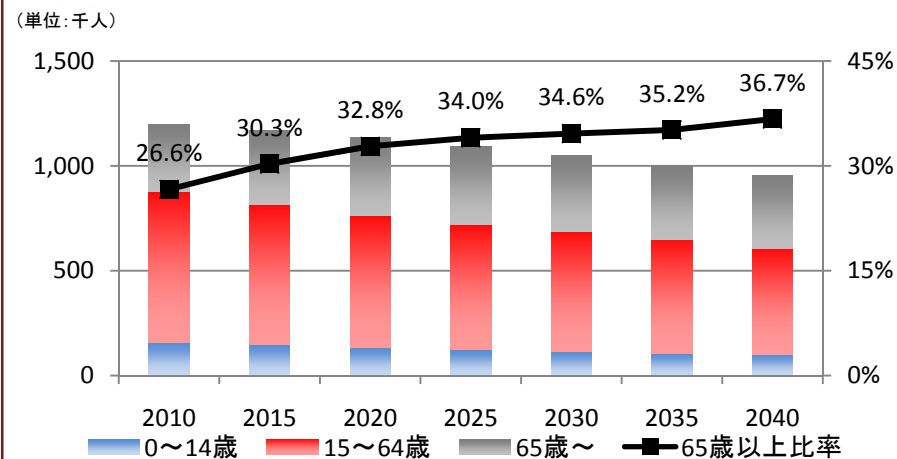
《大分県内企業数》
(中小企業庁 2009年)



大分県内企業の99.9%を占める中小企業の皆さまの
売上増加や経営改善等に、グループ一丸となって取組む。

地域活性化への**直接関与**

《大分県の将来推計人口》
(国立社会保障・人口問題研究所(2013))

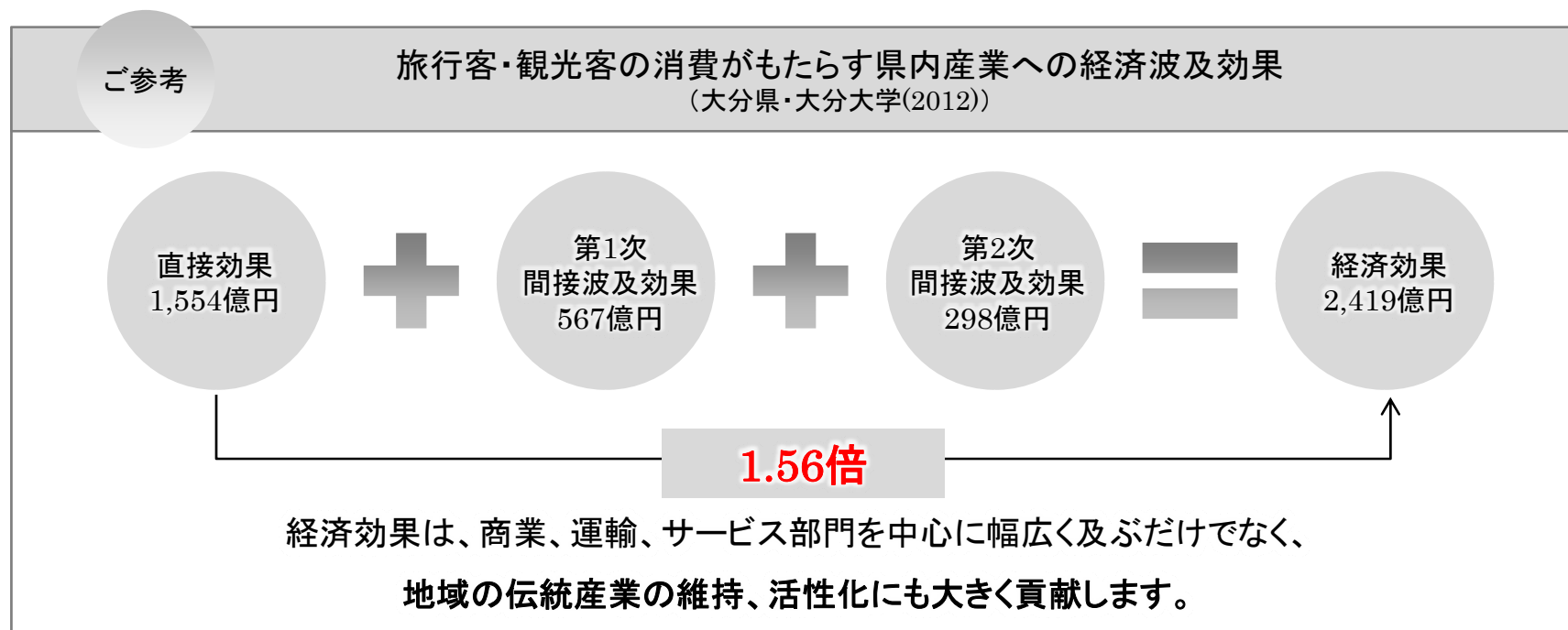


大分県内の人口が減少していくことが見込まれる中で、
地域活性化に向けた地域間連携の橋渡しの役割を担う。

120年にわたり共に歩んできた地域の個性(魅力)を引き出し、
地域を強くしていくお手伝いをさせて頂くことで、
地域と共に大分銀行も成長、発展してまいります。

大分県は別府や湯布院に代表される温泉の他にも、県内各地に素晴らしい観光資源を数多く有しています。

大分銀行では県内の優れた観光資源の発掘や、それらを連携させた魅力あるストーリーの発信等に取り組み、観光業の活性化への主体的な取り組みを通じて、地域全体の活性化に貢献してまいります。





別府アルゲリッチ音楽祭



大分トリニータ



バサジィ大分



大分国際車いす
マラソン大会



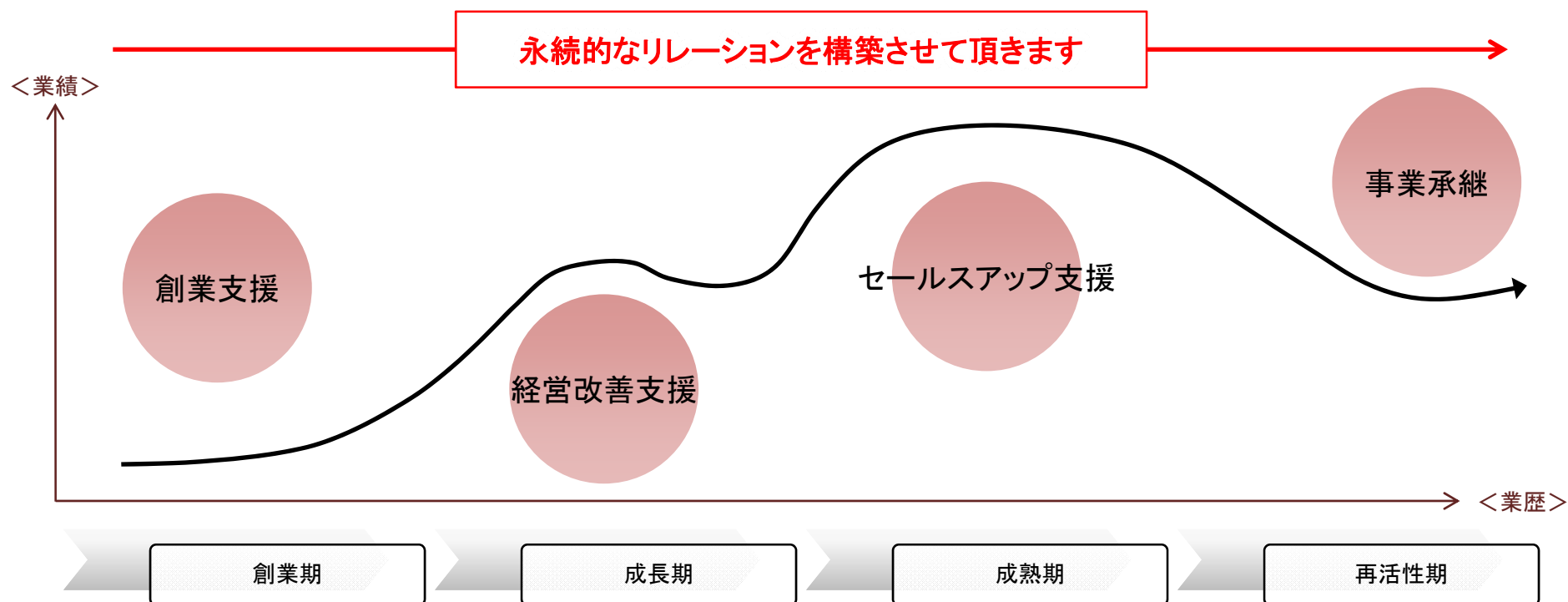
大分県別府市で1998年から継続して開催されている「別府アルゲリッチ音楽祭」は、世界の超一流アーティストが出演する、世界的な音楽イベントです。

また大分県では、大分トリニータやバサジィ大分などのプロスポーツチームが活躍している他、「世界初」の車いす単独での国際マラソン大会も継続開催されています。

大分銀行は、地域の文化・スポーツの振興に対しても積極的な取り組みを行い、地域全体の魅力向上に寄与してまいります。

大分銀行は、「大分の」銀行です。

グローバル化、IT化への対応や後継者の方の育成など、
お客様それぞれの経営課題の解決にしっかりと取り組み、
大切なふるさとである大分の発展のために真剣に努力してまいります。



大分銀行では、個人のお客様にとって更に身近で便利な存在となれるよう、主に以下の取組みを行ってまいります。

- (1) お客様のライフステージに応じた生活のお役に立てる様々な提案を行います。
- (2) 店頭でお客様に感動して頂けるようなサービスを実践すると共に、ATMの更なる利便性向上に努めてまいります。
- (3) パソコンやスマートフォン等を通じたお取引のサービスの内容を拡充します。
- (4) 当行のキャラクターである「マイメロディ」を、様々な場面で登場させます。



《お客様のライフステージに応じたご提案内容の一例》

青年期(～20代)

- 給与振込口座
- インターネット取引
- 消費性ローン



壮年期(30～40代)

- 保険(医療・がん等)
- 住宅ローン
- 教育ローン



中年期(50代)

- 資産形成
- 定期預金
- 預かり資産



老年期(60代～)

- 退職金預入
- 年金相談
- 相続対策

新システムへの移行に関しましては、ゴールデンウィーク期間中にATMを
休止する等、お客さまにご不便をおかけして、大変申し訳ございませんでした。

平成25年5月7日、おかげさまで、大分銀行の新しい勘定系システムは、
無事にスタートすることができました。

今後、営業店の人員を徐々に増加させ、お客さまへのサービスを更に充実
させていただきます。



大分銀行は明治26年の創立以来、地域の金融機関として営業を継続し、

おかげさまで本年2月1日に創立120周年を迎えました。

これもひとえに地域の皆さま、株主の皆さま、お客さまからの

温かいご支援の賜物であると深く感謝申し上げます。

1
2
0
周年
記念
事業

新キャラクター「マイメロディ」、記念ロゴの導入

記念配当の実施

記念キャンペーンの実施

NHK交響楽団大分講演の開催

第10回べつだいウォークへの特別協賛

大分トリニータJ1試合 だいきんスペシャルサンクスデーの開催

大分駅南土地区画整理事業への樹木寄贈

障がい者自立支援活動の実施

絵画コンクール(小学生対象)の開催



《記載内容に関するお問い合わせ先》

株式会社 大分銀行 総合企画部

広報CSRグループ 藤田・長東(電話:097-538-7617)

ホームページアドレス : <http://www.oitabank.co.jp/>

